

2021年度「市民防災・減災活動公募助成」事業実施報告書

団体名_NPO 法人かながわ 311 ネットワーク

代表者・役職名 氏名_代表理事 伊藤朋子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

児童生徒の防災教育の推進

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2011年当時、神奈川県が行っていた東日本大震災の被災地支援活動に参加していたボランティアで、2013年3月に県の事業が終了したことをきっかけに2013年5月に任意団体として発足し、2013年10月にNPO法人化しました。会員数は正会員20人、賛助会員150人、メールマガジン登録1500人程度です。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

2011年東日本大震災以降、学校に求められる危機管理・安全管理の内容は多岐にわたり、その質や目的が変化してきました。当団体は2015年から学校での防災教育の推進に取り組んできました。防災教育の必要性を感じつつも、なかなか取り組めない原因の一つに、予算がないことが挙げられます。学校の負担なく防災教育を実施できるようにするために、本助成金を申請しました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

1. 防災教育の導入支援

メールや電話による相談を受け付けます。目的に適した教材(DIG、逃げ地図、HUG、クロスロード)のご紹介や避難訓練等に関するアドバイスを行います。

2. 防災教育の実施

学校等に出向き児童生徒向けの出前授業や職員研修、訓練へのアドバイス等を行います。出前授業が単発のイベントで終わらないよう、事後のフォローをします。

3. 防災教育に関する総合ウェブサイトの運営

当団体が考案した「かながわ版防災教育プログラム」の詳細について、先生方がすぐに取り組めるよう指導案も公開しています。

4. 防災教育フォーラム開催

私たちが関りのある学校の先生方による、各学校での防災教育の取り組みについて発表と講演会やパネルディスカッションを行います。他行の取り組みを知ることで、自身の取り組みのヒントを得ることができますし、同じ思いを持った同士がいることが防災教育を継続する支えになります。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

防災教育の実施数は13件、参加者数は310人、参加対象は小学生、中学生、教員、保護者、地域の方等でした。防災教育フォーラムは配信会場と各学校をオンライン繋ぐ形で実施し、事例発表として4校が参加しました。小中学校からは児童生徒が発表をしてくれました。全国各地から60人が参加し、発表した児童生徒からの質問に回答してくれたり、発表へのコメントをくれたり、子どもたちと参加者の交流を持つことができました。

学校からは「費用負担が少なかったことで、講師を依頼することができ、学習活動をより深めることができました。」との声をたくさんいただき、実際にまち歩きにでかけたり、防災リーフレットや防災すごろくを作成したり、と学んだことを地域の人に伝えるための取り組みにまで発展しました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

コロナ禍の影響でこの1年半、学校では外部の人との接触がなく、子どもたちが地域の方や外部講師から直接教えてもらう機会が激減してしまったことや、地域の方に学習の成果を発表する「学習発表会」もなくなってしまったことに、先生方は課題感を持っていました。その部分では、本プロジェクトはとても喜んでいただき、防災教育フォーラムでの発表も積極的に取り組んでいただけました。今後も本プロジェクトを活用し、より多くの学校で実施していきたいと思います。

一方で、学校での取り組みは、担当の先生や担任の先生の熱意で実施に結び付くことも多く、継続的な取り組みになっていないことが課題です。できるだけ学校全体の取り組みとなるよう、仕組みづくりにも並行して取り組んでいきたいです。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

活動写真

小学校4年生 DIG



防災教育フォーラム



防災教育 お手伝いします

子ども向けの
出前授業や
職員研修に

年間15件！

「自分のいのちを自分で守れる子どもを育てる」
「楽しく防災を学ぼう！」をモットーに活動しています。
助成金を活用するため、学校のご負担は交通費程度で実施できます。

かながわ311ネットワークが提供する防災教育プログラム

かながわ版
防災教育カリキュラム

1教科5分×9教科=45分。
1年間で45分防災教育を
やったことになる。

学校の授業
で防災教育

- 災害や防災と絡められる単元を抽出
- 関係する災害の種類



楽しく
学べる
防災教材

子どもが考え
行動する
訓練

1. DIG
2. 逃げ地図
3. HUG
4. クロスロード

1. 抜き打ち
2. 二次避難
3. 通学路
防災点検
4. 災害伝言
ダイヤル



DIG

災害想像ゲーム

自分の住む地域の白地図にビニールシートをかぶせ、自治体発行のハザードマップ情報を書き込む。
災害をイメージしやすくなる。

逃げ地図

避難地形時間地図

浸水地域から高台まで何分で避難できるか一目でわかる地図を作成する。
通学途中など一人でも身を守る行動をとれる力を養う。

HUG

避難所運営ゲーム

避難所に見立てた紙の上に避難者を配置し、避難所で起こる出来事に対応する。
何ができるか考える力を身に着ける。

クロスロード

災害対応カードゲーム

設問に対してYESかNOで決断し、お互い選んだ理由を共有する。
様々な意見や価値観を共有することで他者の理解を深める。

認定NPO法人かながわ311ネットワーク

MAIL : bosaikyoiku@kanagawa311.net

TEL : 070-5459-8483 (事務局)

HP : <https://www.bosai-edu-kanagawa311.net/>

お問合せフォームから

真如苑助成事業